

志摩芳次郎 しまたよしじろう 俳人、著述家。明治四十一年一月十二日鹿児島縣  
 生れ、平成元年六月七日歿（一九〇六年）。筆名小松蓼天。築鴨高等商  
 業學校中退。出版社勤務、のち著述業。俳句を石田波郷に學び、俳誌  
 『鶴』、『韻詠派』等々を創した。

著書 『全秘湯のぐり珍行事見物』（昭和二十一年十一月）『千白鶴書  
 房』、『色華節』（昭和四十五年十一月）『千白光風社書店』、『色道  
 物語（第一部）』（昭和四十六年一月）『千白光風社書店』、『艶文名作  
 色くらべ』（昭和四十六年二月）『千白光風社書店』、『江戸の遊里』  
 （昭和五十二年七月）『千白大陸書房』、『色冢の志伝』（昭和五十四年  
 十月）『千白光風社出版』、『俳句をダメにした俳人たち——志摩芳次郎  
 の俳壇を断る』（昭和六十二年十一月）『千八台中共書院』等。

